第 24 回　新春セミナー報告

組織調査部　 小田耕司

第24回新春セミナーは、令和6年 1 月 25日 （木） エーザイ株式会社と共催で参集形式にて開催しました。参加者61名（会員56名、非会員5名）。

特別講演として、群馬大学大学院医学系研究科 放射線診断核医学 客員教授 市川智章先生に「 CT造影理論から見た肝造影CTとCTAの撮像コンセプトの違い　-可変注入法による肝臓撮像の意義を理解するために- 」というタイトルでご講演いただきました。

講演は、通常（120kVp）の肝ダイナミックCTにおける多血性肝細胞癌（HCC）の検出能、特に2cm以下の多血性HCCの感度がEOB-MRIに比較して低いこと、低管電圧撮影（80kVp）あるいは仮想単色画像（40keV）の活用で検出能が改善できること、肝ダイナミックCTと他のCTAとの撮像コンセプトの違い、肝ダイナミックCTにおけるCTAのコンセプトを利用した（造影剤注入速度の）可変注入法など、最新の知見と研究・臨床応用についての内容でした。

今回は4年振りの参集型開催となりました。業務終了後の平日の夜にも関わらず、多数の方にご参加いただきありがとうございました。

